

# 輸出事業計画

申請者名：公益財団法人 日本健康・栄養食品協会

品目：認定健康食品

## 1. 輸出における現状と課題

### 【背景】

GMP認定取得事業者から、認定健康食品\*の海外輸出に伴うGMP認定の英文証明書の発行依頼が増加している（GMP英文証明書」の発行件数は2022年度の80件から2023年度は140件に増加、2024年度は11月までに72件）。認定健康食品の取扱事業者からは、海外輸出を促進するための、認定健康食品のグローバル化やGMP認定のステータス向上について、日健栄協の取組み強化や行政への働きかけの声が多くなってきている。

\*認定健康食品：日健栄協の認定（GMP認定、JHFA認定）を取得した健康食品

### 【これまでの輸出の取組】

これまでは会員企業各社がそれぞれ輸出を行っており、団体として認定健康食品を輸出促進する取組はなかった。

### 【ターゲット国のニーズ及び規制等】

健康食品GMP認定の英文証明書の国別発行の状況、及び、クラスター事業者の事業状況によりインドネシア、ベトナム、フィリピン、タイ、米国をターゲット国として選定している。

### 【課題】

認定健康食品の輸出のためには、輸入手続きとそれに必要な認証制度等について、地域別の情報を獲得することが必要である。その中でも、日本の健康食品GMPのグローバル化とステータス獲得が最重要課題である。

## 2. 輸出事業計画の取組内容

認定健康食品の輸出拡大を目的に、輸入手続きと必要な認証制度等の情報を地域別に獲得する。さらに、認定健康食品のグローバル化とステータス獲得が必要である。特に、GMP認定のグローバル化は最重要課題である。

- ・各地域における健康食品の輸入に必要な認証制度情報の獲得
- ・GMP認定のグローバル化のためのツールの作成（具体的には、GMP認定に関する文書の英語版の作成）
- ・日本の認定健康食品（GMP認定、JHFA認定）の認知向上のための展示会出展

### 【生産・製造・加工】

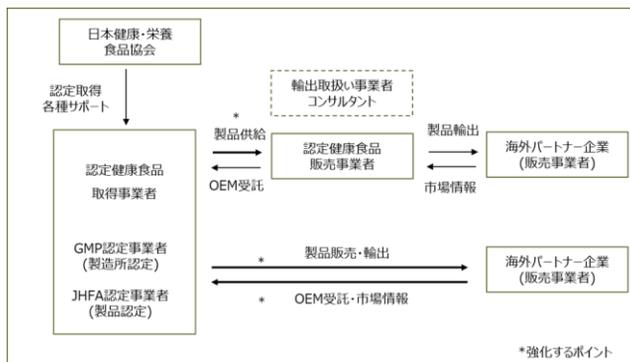
健康食品GMPの認知向上を目的とした情報発信を進める。食品安全マネジメントシステム、HACCP等の衛生管理、cGMP等との違いを明確にして、健康食品GMPの重要性を情報発信する。上記の内容について、展示会出展での情報発信、メンバー企業の商談時における情報発信などを行う。

### 【商流・物流】

商流として、認定健康食品の販売事業者が海外パートナー企業へ製品を輸出して現地で販売を行うケースと海外パートナー企業から国内のOEM事業者へ直接受託するケースがある。国内事業者と海外パートナー企業との連携の強化を行う。

### 【販売】

様々なベネフィットの健康食品がある中で、より詳細なニーズを把握し、販売を加速する。現地の販売者や仲介業者とのコンタクトをとるため、また、日本の認定健康食品の認知向上を図ることを目的に、海外での展示会での出展を行う。展示会出展に合わせて、ビジネスマッチングの場を設定する。



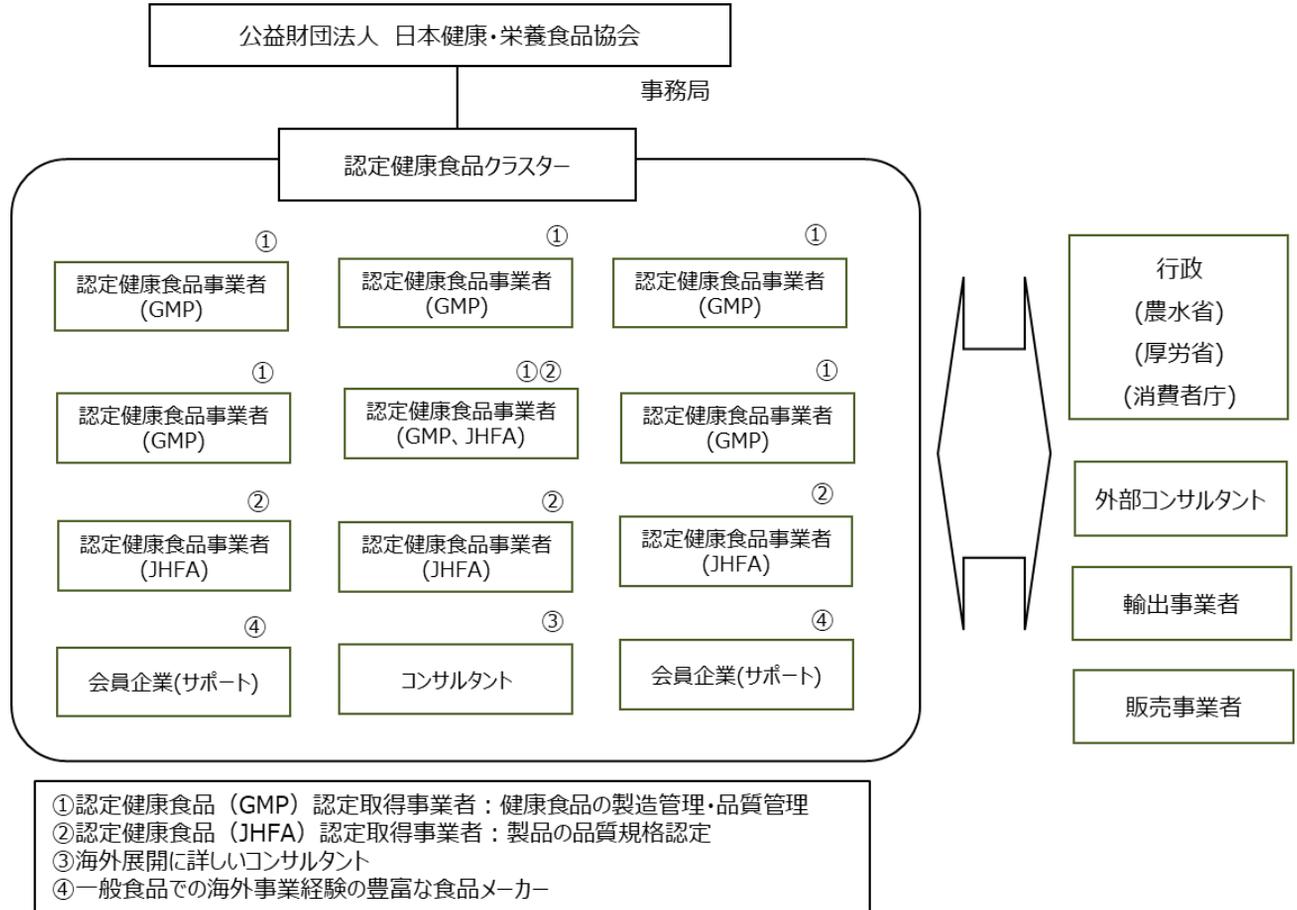
# 輸出事業計画

申請者名：公益財団法人 日本健康・栄養食品協会

品目：認定健康食品

## 3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

認定健康食品（GMP認定、JHFA認定）を取扱う事業者を中心に「認定健康食品クラスター」を組成し輸出促進に向けた活動を展開する。「認定健康食品クラスター」には、前記の事業者に加えて、一般食品での海外事業経験の豊富な会員企業をメンバーに加え、事業経験を踏まえたアドバイスを行う。



## 4. 輸出目標額

対象品目：  
認定健康食品

		現状 (令和5年)	目標年 (令和9年)
九州地区、 静岡、埼 玉、岡山	輸出額 (千円)	350,000	750,000
	輸出量 (kg)	80,167	168,351
	輸出先国	インドネシア、バトナム、 フィリピン、タイ、米国	インドネシア、バトナム、 フィリピン、タイ、米国